

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



最初のひと月を終えて～ありがとうございました～

オンラインによる個人面談が終了しました。

短い時間でしたが、学校でのありのままの姿をお伝えしました。

「授業中たくさん発言します。」

「ロッカーが美しく整頓されています。」

「どの教科でもとにかく一所懸命取り組みます。」

「友だちにすごく優しいです。」

「立ち上がるかのような勢いで手を挙げます。」

「字の書き方がとても丁寧になってきています。」 などなど。

お世辞でも何でもなく、真実を伝えました。

それに対して、次のように応えるお家の方々がいらっしゃいました。

少なからず。

「驚きました。」

「家では全然違います。」

「だら～っとしていることが多いです。」

そうだろうなあと思いました。

小学生は特にエネルギーが豊富な時期だといいますが、その持てる熱量を学校で存分に出している印象を受けます。

さらに、この「小学校入学」という大きな大きな環境の変化がありました。

生活が一変したという子がほとんどのはずです。

ですから、子どもなりに自己調節をしているのかもしれませんが。

ピンと張りつめた糸は、すぐにプツンしてしまいます。

張ったり緩んだりしている糸は、長持ちします。

ハンドルは、遊びがあるから事故を回避できます。

生活にはメリハリが必要です。

家では「メリ」、学校では「ハリ」と自然と調節をしている子もいること
でしょう。(私も家では完全なメリメリ状態です。)

学校では存分に頑張っていますから、子どもたちのご家庭でのゆったりと
した時間、見守っていただければと思います。(もちろん、家庭での役割、
節度を前提にしての事です。)

また、ご家庭での変化や成長についても色々と教えて頂きました。

「一人で言われなくても準備ができるようになってきました。」

「わずかな期間ですが、大人になったなあと感じます。」

「学校の事をよく話してくれるようになりました。」

他にも、

「毎日楽しく通っています。」

「授業が楽しいと言っていました。」

「学校がとても好きみたいです。」

など、喜び勇んで学校に通っている話も度々話題に上がりました。

この大きな環境変化という大波にもへこたれず、学校に通っている子ども
たちは本当に凄いなあと思心から思います。

そういった意味でも、この4月は「学校に通えた」というだけで花丸だとも
思っています。

変化には不安や心配がつきものですが、そうした波を一つずつ越えて成長
していく子どもたちの姿を、これからも応援していきたいと思心から思います。

そして、本日でその4月も終わりを迎えました。

入学してからもう1か月近くが過ぎようとしています。

ひと月を走り切って今改めて思うのは、1年生のみんなの学校生活を支えて下さった大勢の方々への感謝です。

登下校でお世話になった運転手やバスティーチャーの皆さん。

教材の整備やアフタースクール等でお世話になった事務の皆さん。

給食の配膳や片づけをしてくださった用務員の方々。

怪我や体調不良の時に介抱してくださった保健室の田中先生。

他にも、「この方がいなければ学校生活が成り立たなかった」というキーマンの方がたくさんいます。

そして何より、入学してから子どもたちの学校生活を日夜支えて下さった保護者の方々に最大級の感謝をお伝えしたいです。

見える所・見えない所の両方で、日々お家の方々がサポートをしてくださっていることが学校にもハッキリと伝わってきました。

きっと、慣れないシステムに戸惑われたことも多かったと思いますし、お子さんと同様に、もしくはそれ以上に心配を抱えていた方も多かったのではないかと思います。

それでも、毎日食事の準備をし、学校に行く準備を手伝い、バスまで見送り、いつも以上に心や声をかけてこの1か月を過ごして下さったのだろうと感じています。

また、折に触れて担任団に欠けて下さった一声ひと声にも大変励まされました。

そうしたいくつものサポートがあったからこそ、大きな事故や怪我無くスタートのひと月を終えることができたのだと思います。

担任団一同、心よりお礼申し上げます。

一年生にとって一番大変な最初の1か月をがっちりとサポートして下さり、本当にありがとうございました。

5月からもまた、どうぞよろしくお願いします。

また、本日3・4時間目には、上級生が「1年生を迎える会」を開いてく

れました。

この日の為に、飾りつけ、歌の練習、レクの段取り、たくさんの時間をかけて準備をしてくれたことが伝わってきて、私も胸が熱くなりました。



お兄さんやお姉さんに「ようこそ SOLAN へ!」と歓迎の会を開いてもらい、1年生のみんなはとても嬉しそうな様子でした。

「小学生になる」や「大人になる」、あるいは「父になる」「母になる」など「～になる」というのは、ある日を境に急にそうなるものではなく、色々な山を共に乗り越えていく中で少しずつなっていくものなのだと改めて思いました。

1か月を過ごし、少しずつ小学生として成長していく1年生の姿を心から誇らしく思います。

改めて、SOLAN へようこそ。1年生のみんなとこれからも共に過ごしていけることが、本当に嬉しいです。(文責：渡辺道治)